

多摩消防団だより

第4号
発行

平成20年9月吉日
多摩消防団広報部

印刷

井上印刷所



「消防庁長官表彰旗受章にあたり」

多摩消防団長 松澤忠志

自治体消防六十周年記念の年に多摩消防団が消防庁長官表彰旗の受章の栄に能くしました。表彰旗は防災思想の普及、消防施設の整備、その他火災防御に関する対策の実施について、その成績が特に優秀でかつ他の模範となる消防機関に対して授与されるものであります。

このたび多摩消防団が受章できましたのは、日頃の団員の活躍は基より各関係機関、協力団体の皆様方のお力添えがあつて初めて可能になったものであります。それ故に今回の表彰旗受章は多摩消防団の歴史を支えて頂いた消防団の先輩の皆様方、多摩消防署、関係各位の総合力によりいただいたものと改めて思いを強くしております。

私達多摩消防団員は今回の受章に尚一層訓練を重ね地域の防火防災に全力を尽くして行く所存でございます。今後ともさらなる御支援、御協力の程よろしくお願い申し上げます。

その他の表彰

消防庁長官表彰	永年勤続功労賞	副団長	松澤喜義
神奈川県知事表彰	永年勤続(三十年)表彰	庶務部長	井田哲芳
日本消防協会表彰	永年勤続(三十年)表彰		
"	精績章	"	"
"		"	"

多摩消防団の活動（上半期）

四月

消防団用機械器具等性能検査

平成二十年四月十九日（土）、川崎市消防総合訓練場において、本年も有事に備えるため、小型動力ポンプ及び付属品、消防ホース、ポンプ積載車などの総合点検を実施しました。



辞令交付式

平成二十年四月

十九日（土）、多摩

消防署講堂において、辞令交付式が行なわれ、新入団員十二名、昇任団員十一名、退団団員十三名に対し多摩消防団長から辞令が渡されました。



「副団長就任にあたり」

多摩消防団 副団長 松澤喜義

私は、昭和五十年に多摩消防団に入団。先輩の指導、激励に支えられ火災、水害、土砂崩れを始め、様々な訓練や災害等に積極的に参加出勤して来ました。そこで学んだことは災害を防ぐには予防から始まるということです。

科学が進んでも大自然には逆らえません。特に昨今では大地震等による被災が問題になっています。普段の家庭での話し合い、訓練参加がいざという時に我が身を守りまします。被害を小さくする為には地域の皆様と協力し合い災害を恐れないことが大切です。副団長として重責を心して消防団幹部として安全第一で頑張ります。

御指導御鞭撻を宜しくお願い致します。



「分団長就任にあたり」

多摩消防団稲田分団 分団長 濱田基男

平成二年四月、多摩消防団稲田分団宿河原・堰班団員として入団し、今年度から分団長に昇任しました濱田基男です。多摩区の安心・安全を守る一助となるため、日々の訓練・点検・警備・各町会の防災訓練等に参加協力し、地域に密着した消防団活動が出来るよう稲田分団員と一丸となって懸命に頑張っております。

今後も本団役員・多摩消防署・町会役員の皆様方のご指導を頂きながら活動し、地域の防災意識の向上と有事の際の安全・確実な消防活動等に精進してまいります。応援よろしくお願い致します。



五月

市長から退団両氏へ感謝状

去る三月に退団された竹間清房氏と伊藤和良氏から多摩消防署に救急訓練用人体一体とAED訓練機二個が寄付され、川崎市長からお二人に感謝状が贈られました。

水防訓練

平成二十年五月三十日（金）、多摩川河川



敷「稲田多摩川公園」において実施された訓練に、区関係局と共に消防団員八十一名が参加し、水害による被害の防止・軽減のために、三十六本のホースを延長して遠距離送水を実施し、真剣な訓練が行われました。

六月 みんなが消防士事業

例年、消防署が小学生を対象とした防火教育の一環として行なっている「みんなが消防士事業」に地域を管轄の消防団も参加指導し、児童はじめ担任の先生方からも大変好評で、消防署以外にも火災現場等で活躍する消防団員を十分アピールすることができました。

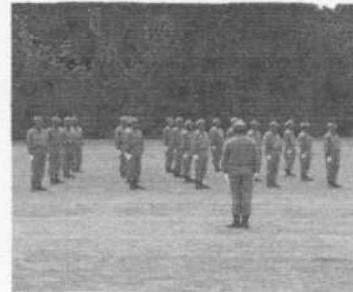


七月

稲田分団操法大会

多摩消防団稲田分団

副分団長 井口 保



今年の稲田分団操法大会は蒸し暑い中行われ、各班連日の訓練の成果がいかなく発揮されたと思います。

特に新入団員にとってはこの約一ヶ月間は、自分の仕事が終わって疲れた体での訓練は苦しかった事だと思えます。しかし、この訓練期間中に得た消防団員としての規律、知識、技術、そして何よりも団員相互の信頼関係、団結力はこれから先自分自身の貴重な財産になることだと思えます。そしてこの稲田分団操法大会を経験して本当の意味での多摩消防団稲田分団の一員になったと思えます。
最後に選手を連日サポートしてくれた各班班員の皆様、本当にご苦勞様でした。

八月

第九回多摩消防団消防大会 優勝 中野島班

指揮者 矢口真一

私たちが中野島班は、今年こそは是非とも優勝をと、全員が一丸となって訓練に励んできましたので、優勝できた喜びよりもむしろ、責任を果たせたという思いでほっとしました。

思い起こせば、新入団員の時には何も分からずに訓練に参加し、大変つらい思いもしましたが、毎年の厳しく節度ある訓練を重ねることで、消防団員としてはもちろん一人の人間としても成長させて頂くことができ、何事にも変えられない貴重な経験をさせて頂いたと思います。沢山の応援、ありがとうございました。

第九回 大会結果

優勝 中野島班

指揮者 矢口真一

一番員 本山正春

二番員 伊藤巡一

三番員 上村浩一

優秀選手賞

指揮者 大作班

一番員 菅班

二番員 中央生田班

三番員 中野島班

川崎和成

原嶋俊之

福岡成浩

上村浩一



消防団に入団して (平成二十年四月新入団員)

稲田分団

菅 班 原嶋俊之

入団してから日も浅く、具体的に何をすればいいのか、また何が自分には出来るのかまだわからないことだらけですが、諸先輩方の指導の下、出来るだけ早く技術と知識を会得し地域の役に立てよう努力していきたくです。

菅 班 上原敏之

新入団員として活動して参りましたが、今まで消防団について、何も知りませんでした。今感じること、町会など地域との結び付きが強い事です。先輩方のご指導の下、団員として恥の無い様に努力したいと思います。

中野島班 伊藤巡一

以前から消防団の方々の活躍を伺い感心しておりました。私個人は自営業でもあり、ご迷惑をかけてしまうことがあるかと思いますが、私なりに、中野島班の一員になればと思えます。消防団員として、地域のお役に立てるように頑張っていきたいと思えます。

登戸班 鈴木賢司

会社と家の往復で過ごしていた生活から地元の様々な年代の人が集まり、訓練や操法大会など同じ目標に向かう消防団。先輩方の指導により消防団員としての知識や技術を早く習得するように努めると共に、微力ではあるが地域の防災活動に貢献できるように努力していきたく。

登戸班 鈴木広樹

近年、温暖化による自然災害や大地震など身近に感じるようになりましたが、消防団に入団してから地域とのコミュニケーションを計れるようになり、みんなで助け合うという意識が強くなりました。しかしまだ未熟なので消防団の一員として早く認めてもらえるようにがんばっていきます。

宿河原・堰班 元木幸一

めまぐるしく変化していく昨今において消防団が存続している理由を今、体中で感じています。そして、諸先輩方のご指導のもと少しでも早く一人前の団員になれるよう努力していき、この歴史ある消防団を絶やすことなく受け継いでいきたいと思います。

宿河原・堰班 齊藤裕之

不安の中、入団しました。しかし、誇りをもった先輩達に出会い同じ思いの同期の仲間と活動していると、やる気が芽生えてきました。今後も先輩達の厳しくも温かいご指導を頂き、地域の安全と火の用心を願って活動していきます。

宿河原・堰班 大津浩一

私は、消防団の存在を全く知らず、又活動内容も知らず入団致しました。仕事柄、土日の活動にほとんど参加できず、諸先輩方に大変迷惑を掛けてしまっています。でも少しでも貢献できるように頑張っていきたいと思えます。

宿河原・堰班 村越瑞穂

私は消防団に入るまでは、まったく消防団が何のために存在するのか知りませんでした。しかし、入団して放水訓練や災害訓練を経験し、消防団の大切さを知りました。数多くの先輩方にご指導頂き、地域の安全に貢献できるように努力していきたく思えます。

長尾班 増田哲史

私の父も以前消防団に入っていました。消防団活動の事は少しは知っていましたが実際に活動に携わって大変さがよく解りました。これからは、先輩方の教えを守り消防活動を頑張っていこうと思えます。

生田分団

東生田班 高橋宏行

生まれ育ったこの地域に、これから起こりうる災害に対して自分が何か役に立てればと思ひ、消防団に入りました。まだまだ未熟ですが先輩方に指導を受け、頑張っていきたいと思えます。

長沢班 谷口正明

本年四月より生田分団長沢班に入団しました谷口と申します。消防団活動を通じて自分の家族や地域の人々が安心して暮らせる街づくりにも少しでも貢献できるように努力して行きたいと思えますので宜しくお願致します。

多摩消防団役員

団 長	松澤忠志 (生田)
副団長	田中隆浩 (稲田)
副団長	松澤喜義 (生田)
庶務部長	井田哲芳 (稲田)
警護部長	増田朝光 (稲田)
消防部長	三平 等 (稲田)
広報部長	中山 浩 (生田)

多摩消防団広報部

本団広報部長	中山 浩
生田分団副分団長	松本 勇
生田分団部長	石川秀明
生田分団団員	齊藤嘉章
稲田分団部長	手塚貴久
稲田分団部長	大貫欽也
稲田分団団員	田村賢太郎
協力	
多摩消防署	
庶務係長	酒井幹夫
主任	栗山東也

編集後記

新体制のもと、気持ちを新たに取組んで参ります。

また、第四号の発行に際し、御協力頂いた皆様に厚く御礼申し上げます。

多摩消防団広報部一同